

2023年3月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2022年8月3日

上場会社名 兼松株式会社 上場取引所 東
 コード番号 8020 URL <https://www.kanematsu.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮部 佳也
 問合せ先責任者 (役職名) 主計部長 (氏名) 藤井 励起 TEL 03-5440-8111
 四半期報告書提出予定日 2022年8月12日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年6月30日）
(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	214,466	22.2	9,450	87.2	9,357	77.1	7,067	87.7	6,345	95.0	13,908	388.2
2022年3月期第1四半期	175,567	23.3	5,047	49.0	5,284	54.6	3,765	49.2	3,253	37.9	2,849	2.9

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	75.99	75.82
2022年3月期第1四半期	38.96	38.91

(注) 「営業利益」は、要約四半期連結損益計算書における「営業活動に係る利益」を示しております。
 「基本的1株当たり四半期利益」および「希薄化後1株当たり四半期利益」は、「親会社の所有者に帰属する四半期利益」を基に算定しております。

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	667,476	209,243	168,845	25.3
2022年3月期	634,456	199,282	159,484	25.1

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	30.00	—	35.00	65.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	35.00	—	35.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正有無：無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	収益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	850,000	10.7	31,500	7.3	32,000	11.2	18,000	12.6	215.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期1Q	84,500,202株	2022年3月期	84,500,202株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	985,160株	2022年3月期	984,933株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期1Q	83,515,185株	2022年3月期1Q	83,511,633株

※ 四半期決算短信は公認会計士または監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	4
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	6
要約四半期連結損益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
要約四半期連結包括利益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	8
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(セグメント情報等)	11
(重要な後発事象)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2022年4月1日～6月30日)の世界経済は、先進国がインフレ抑制を最優先する姿勢を鮮明にする中、ウクライナ危機による資源高・商品高や、中国「ゼロコロナ政策」の影響が加わり、景気への下振れ圧力が強まりつつあります。

米国経済は、歴史的な物価上昇に歯止めがかからず、インフレ抑制を政策の最優先事項として急ピッチの金融引き締めを進めていることから、景気後退入りも懸念される一方で、雇用は堅調でサービス消費を中心に依然として過熱感強く、ウクライナ危機の影響を受けてエネルギー投資も進み、強弱材料が交錯する状況です。

欧州においては、変異株ウイルスに対する行動規制が段階的に緩和され景気が持ち直しつつあった一方で、ウクライナ危機とそれによるエネルギー供給不安などが物価にも大きく影響し、先行きの不透明感が強まってきました。

中国においては、上海をはじめとしたゼロコロナ政策によるロックダウン(都市封鎖)により生産活動は停滞し、雇用情勢の悪化により消費も落ち込んだことから、経済は急減速しました。

日本経済は、新型コロナウイルス感染症対策などの効果もあり経済活動の正常化が進み、個人消費においても回復の兆しが見られ、設備投資需要・IT投資需要なども堅調に推移していますが、資源高・商品高と円安による原材料高騰が進み、先行き不透明な状況は続いています。

このような環境のもと、当第1四半期連結累計期間の当社グループの業績は、次のとおりとなりました。

市況上昇を受けた畜産事業や食糧事業、原油価格上昇により石油製品取引高が増加したエネルギー事業を中心にほぼすべての事業において増収となりました。手数料収入の減少が影響したモバイル事業などでは減益となった一方、コロナ禍からの回復や市況上昇によりほぼ全ての事業で増益となりました。

その結果、収益は、前年同期比388億99百万円(22.2%)増加の2,144億66百万円となり、売上総利益も、前年同期比48億26百万円(19.5%)増加の296億8百万円となりました。営業活動に係る利益は、販売費及び一般管理費は増加しましたが売上総利益などの増加により、前年同期比44億3百万円(87.2%)増加の94億50百万円となりました。また、営業活動に係る利益の増加などにより、税引前四半期利益は、前年同期比40億73百万円(77.1%)増加の93億57百万円となり、親会社の所有者に帰属する四半期利益は、前年同期比30億92百万円(95.0%)増加の63億45百万円となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 電子・デバイス

収益は電子機器・電子材料事業やICTソリューション事業などの増収により前年同期比57億91百万円増加の595億48百万円、営業活動に係る利益は電子機器・電子材料事業や半導体部品・製造装置事業などの増益により9億円増加の30億92百万円、親会社の所有者に帰属する四半期利益は5億53百万円増加の16億97百万円となりました。

② 食料

収益は畜産事業や食糧事業などの増収により前年同期比127億40百万円増加の828億14百万円、営業活動に係る利益は畜産事業、食品事業などの増益により16億55百万円増加の31億91百万円、親会社の所有者に帰属する四半期利益は15億11百万円増加の25億68百万円となりました。

③ 鉄鋼・素材・プラント

収益はエネルギー事業や鋼管事業などの増収により前年同期比128億58百万円増加の447億95百万円、営業活動に係る利益はエネルギー事業や鋼管事業などの増益により16億96百万円増加の22億52百万円、親会社の所有者に帰属する四半期利益は9億9百万円増加の13億43百万円となりました。

④ 車両・航空

収益は航空宇宙事業などの増収により前年同期比67億58百万円増加の235億93百万円、営業活動に係る利益は航空宇宙事業の増益により57百万円増加の6億43百万円、親会社の所有者に帰属する四半期利益は1億33百万円増加の4億82百万円となりました。

⑤ その他

収益は前年同期比7億51百万円増加の37億13百万円、営業活動に係る利益は95百万円増加の2億63百万円、親会社の所有者に帰属する四半期利益は2億3百万円増加の2億99百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債および資本の状況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比330億20百万円増加の6,674億76百万円となりました。

有利子負債については、借入金の増加などにより前連結会計年度末比15億86百万円増加の1,450億38百万円となりました。現預金を差し引いたネット有利子負債は、前連結会計年度末比28億42百万円増加の540億84百万円となりました。なお、有利子負債にはリース負債を含めておりません。

資本のうち、親会社の所有者に帰属する持分については、親会社の所有者に帰属する四半期利益の積上げおよび円安に伴うその他の資本の構成要素の増加などにより、前連結会計年度末比93億61百万円増加の1,688億45百万円となりました。

その結果、親会社所有者帰属持分比率は25.3%、ネット有利子負債資本倍率（ネットDER）は0.3倍となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末比17億54百万円減少の896億66百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、営業収入の積上げなどにより、51億39百万円の収入（前年同期は25億56百万円の収入）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、子会社の取得などの事業投資の実行により、27億46百万円の支出（前年同期は42億30百万円の支出）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払いやリース負債の返済などにより、52億70百万円の支出（前年同期は4億98百万円の支出）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当連結会計年度の連結業績予想につきましては、2022年5月10日公表の連結業績予想から変更はありません。

* 将来情報に関するご注意

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度末 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間末 (2022年6月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	91,420	89,666
営業債権及びその他の債権	236,453	236,773
棚卸資産	121,018	141,660
その他の金融資産	12,006	17,657
その他の流動資産	31,190	29,364
流動資産合計	492,090	515,124
非流動資産		
有形固定資産	42,087	49,836
のれん	10,624	11,530
無形資産	24,912	24,966
持分法で会計処理されている投資	15,121	15,627
営業債権及びその他の債権	807	799
その他の投資	35,997	37,093
その他の金融資産	7,101	7,164
繰延税金資産	2,175	1,825
その他の非流動資産	3,537	3,508
非流動資産合計	142,365	152,352
資産合計	634,456	667,476

(単位：百万円)

	前連結会計年度末 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間末 (2022年6月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	214,822	229,197
社債及び借入金	73,707	73,365
リース負債	6,674	7,924
その他の金融負債	7,567	9,845
未払法人所得税	4,893	1,828
引当金	503	440
その他の流動負債	30,290	30,162
流動負債合計	338,459	352,764
非流動負債		
社債及び借入金	69,745	71,672
リース負債	10,158	15,134
その他の金融負債	1,608	1,642
退職給付に係る負債	6,842	6,926
引当金	1,712	1,760
繰延税金負債	5,453	7,155
その他の非流動負債	1,193	1,176
非流動負債合計	96,714	105,467
負債合計	435,173	458,232
資本		
資本金	27,781	27,781
資本剰余金	27,164	27,219
利益剰余金	89,280	92,702
自己株式	△1,305	△1,305
その他の資本の構成要素		
在外営業活動体の換算差額	5,296	9,206
その他の包括利益を通じて 公正価値で測定する金融資産	10,068	10,698
キャッシュ・フロー・ヘッジ	1,198	2,541
その他の資本の構成要素合計	16,563	22,446
親会社の所有者に帰属する持分合計	159,484	168,845
非支配持分	39,798	40,398
資本合計	199,282	209,243
負債及び資本合計	634,456	667,476

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

(要約四半期連結損益計算書)

(第 1 四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 2021 年 4 月 1 日 至 2021 年 6 月 30 日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 2022 年 4 月 1 日 至 2022 年 6 月 30 日)
収益	175,567	214,466
原価	△150,785	△184,858
売上総利益	24,782	29,608
販売費及び一般管理費	△20,565	△22,225
その他の収益・費用		
固定資産除売却損益	△1	△3
固定資産減損損失	△12	—
その他の収益	990	2,221
その他の費用	△145	△149
その他の収益・費用合計	830	2,068
営業活動に係る利益	5,047	9,450
金融収益		
受取利息	34	50
受取配当金	388	561
その他の金融収益	6	133
金融収益合計	428	746
金融費用		
支払利息	△400	△631
その他の金融費用	△52	△13
金融費用合計	△452	△644
持分法による投資損益	260	△195
税引前四半期利益	5,284	9,357
法人所得税費用	△1,519	△2,289
四半期利益	3,765	7,067
四半期利益の帰属：		
親会社の所有者	3,253	6,345
非支配持分	511	721
計	3,765	7,067
親会社の所有者に帰属する 1 株当たり 四半期利益		
基本的 1 株当たり四半期利益 (円)	38.96	75.99
希薄化後 1 株当たり四半期利益 (円)	38.91	75.82

(要約四半期連結包括利益計算書)
(第 1 四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第 1 四半期 連結累計期間 (自2021年 4 月 1 日 至2021年 6 月 30日)	当第 1 四半期 連結累計期間 (自2022年 4 月 1 日 至2022年 6 月 30日)
四半期利益	3,765	7,067
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	△896	503
確定給付制度の再測定	△0	—
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	△1	△22
純損益に振り替えられることのない項目合計	△898	481
純損益にその後に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	118	4,317
キャッシュ・フロー・ヘッジ	△338	1,332
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	202	708
純損益にその後に振り替えられる可能性のある項目合計	△16	6,358
税引後その他の包括利益	△915	6,840
四半期包括利益	2,849	13,908
四半期包括利益の帰属：		
親会社の所有者	2,371	12,228
非支配持分	478	1,679
計	2,849	13,908

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	
					在外営業活動体の換算差額	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産
2021年 4月 1日 残高	27,781	27,034	78,070	△1,311	1,633	10,163
四半期利益			3,253			
その他の包括利益					323	△864
四半期包括利益	—	—	3,253	—	323	△864
配当金			△2,505			
非支配持分株主に対する配当金						
自己株式の取得				△0		
非支配持分株主との資本取引		7				
株式報酬取引		42				
所有者との取引額合計	—	49	△2,505	△0	—	—
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替			151			△151
2021年 6月 30日 残高	27,781	27,083	78,969	△1,311	1,956	9,147

	親会社の所有者に帰属する持分				非支配持分	資本合計
	その他の資本の構成要素			親会社の所有者に帰属する持分合計		
	キャッシュ・フロー・ヘッジ	確定給付制度の再測定	その他の資本の構成要素計			
2021年 4月 1日 残高	554	—	12,351	143,926	36,566	180,492
四半期利益			—	3,253	511	3,765
その他の包括利益	△340	△0	△881	△881	△33	△915
四半期包括利益	△340	△0	△881	2,371	478	2,849
配当金			—	△2,505		△2,505
非支配持分株主に対する配当金			—	—	△1,039	△1,039
自己株式の取得			—	△0		△0
非支配持分株主との資本取引			—	7	△24	△17
株式報酬取引			—	42		42
所有者との取引額合計	—	—	—	△2,456	△1,063	△3,520
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替		0	△151	—		—
2021年 6月 30日 残高	214	—	11,318	143,841	35,980	179,822

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	
					在外営業活動体の換算差額	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産
2022年 4月 1日 残高	27,781	27,164	89,280	△1,305	5,296	10,068
四半期利益			6,345			
その他の包括利益					3,910	629
四半期包括利益	—	—	6,345	—	3,910	629
配当金			△2,923			
非支配持分株主に対する配当金						
自己株式の取得				△0		
非支配持分株主との資本取引		7				
株式報酬取引		48				
所有者との取引額合計	—	55	△2,923	△0	—	—
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替			△0			0
2022年 6月30日 残高	27,781	27,219	92,702	△1,305	9,206	10,698

	親会社の所有者に帰属する持分				非支配持分	資本合計
	その他の資本の構成要素			親会社の所有者に帰属する持分合計		
	キャッシュ・フロー・ヘッジ	確定給付制度の再測定	その他の資本の構成要素計			
2022年 4月 1日 残高	1,198	—	16,563	159,484	39,798	199,282
四半期利益			—	6,345	721	7,067
その他の包括利益	1,343		5,882	5,882	957	6,840
四半期包括利益	1,343	—	5,882	12,228	1,679	13,908
配当金			—	△2,923		△2,923
非支配持分株主に対する配当金			—	—	△1,079	△1,079
自己株式の取得			—	△0		△0
非支配持分株主との資本取引			—	7	△0	7
株式報酬取引			—	48		48
所有者との取引額合計	—	—	—	△2,867	△1,079	△3,947
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替			0	—		—
2022年 6月30日 残高	2,541	—	22,446	168,845	40,398	209,243

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

報告セグメントの利益は、親会社の所有者に帰属する四半期利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益および振替高は外部顧客との取引価格に準じて決定しております。

I 前第1四半期連結累計期間(自2021年4月1日 至2021年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	調整額 (注) 2	連結
	電子・ デバイス	食料	鉄鋼・ 素材・ プラント	車両・航空	計			
収益								
外部顧客からの収益	53,757	70,074	31,937	16,835	172,604	2,962	—	175,567
セグメント間収益	48	0	7	2	59	60	△120	—
収益合計	53,805	70,075	31,945	16,838	172,663	3,023	△120	175,567
営業活動に係る利益 または損失(△)	2,192	1,536	556	586	4,872	168	6	5,047
セグメント利益または 損失(△)	1,144	1,057	434	349	2,985	96	171	3,253

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流・保険サービス事業およびジオテック事業等を含んでおります。

2. 調整額は、次のとおりであります。

- ・営業活動に係る利益または損失(△)の調整額6百万円には、セグメント間取引消去6百万円が含まれております。
- ・セグメント利益または損失(△)の調整額171百万円には、セグメント間取引消去△1百万円、各セグメントに配分していない全社費用172百万円が含まれております。全社費用の主な内容は、当社において発生する実際の法人所得税費用と、社内で設定している計算方法により各セグメントに配分した法人所得税費用との差異等であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自2022年4月1日 至2022年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	調整額 (注) 2	連結
	電子・ デバイス	食料	鉄鋼・ 素材・ プラント	車両・航空	計			
収益								
外部顧客からの収益	59,548	82,814	44,795	23,593	210,752	3,713	—	214,466
セグメント間収益	130	0	34	0	164	56	△221	—
収益合計	59,679	82,814	44,830	23,593	210,917	3,770	△221	214,466
営業活動に係る利益 または損失(△)	3,092	3,191	2,252	643	9,180	263	6	9,450
セグメント利益または 損失(△)	1,697	2,568	1,343	482	6,092	299	△45	6,345

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流・保険サービス事業およびジオテック事業等を含んでおります。

2. 調整額は、次のとおりであります。

- ・営業活動に係る利益または損失(△)の調整額6百万円には、セグメント間取引消去6百万円が含まれております。
- ・セグメント利益または損失(△)の調整額△45百万円には、セグメント間取引消去△2百万円、各セグメントに配分していない全社費用△43百万円が含まれております。全社費用の主な内容は、当社において発生する実際の法人所得税費用と、社内で設定している計算方法により各セグメントに配分した法人所得税費用との差異等であります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。